



# あなたと博物館

HIRATSUKA CITY MUSEUM

2001. 9月号



折り紙でセミを作ったよ!

## こども観察クラブ「セミの観察」

小中学生のための自然観察の催しとして、今年初めて「こども観察クラブ」が開かれました。8月14日・15日の2日間にわたって開かれたこの行事には、16名の小中学生が参加し、セミについていろいろなことを経験しました。たとえば・・

- お話「平塚にはどんなセミがいるだろう」  
鳴き真似の練習もしました。
- 標本のスケッチ「セミの体を見てみよう」  
大きなクマゼミの体をじっくり観察。
- 総合公園で観察「アブラゼミを探してみよう」
- セミの折り紙作り
- 吉沢で観察「ぬけがらを探そう」  
アブラゼミ・ミンミンゼミ・ヒグラシを発見
- ぬけがらの標本作り

### 気がついたこと

金色の毛が多かった

上山龍太郎

セミの羽には、すじがたたくさんとおって



上山龍太郎君のクマゼミの観察

# 東海道宿駅制度400年記念

## 巡回展「二宮・大磯・平塚を結ぶ道—東海道—」

2001年は、徳川家康が慶長6年(1601)東海道の伝馬制度を制定してから、400年の記念の年にあたります。江戸時代を通して東海道は、京都と江戸を結ぶ大動脈として重要な道でした。その役割は政治的なものにとどまらず、さまざまな人や物資・情報が行き交った道としても、実に多様な性格を持っていたといえます。こうした東海道の役割を支えていたのが、各地に設置された宿場であり、街道沿いの村々でした。

大磯宿・平塚宿は、家康が伝馬制度を制定した慶長6年に設置された宿場ですが、二宮は、伝馬宿ではありませんでした。しかし、大磯・小田原宿のほぼ真ん中に位置する梅沢には「間の宿」といわれる休息・宿泊所が発展しました。そこで、この巡回展では、二宮間の宿、大磯宿、平塚宿にそれぞれ残る資料から、各宿場の機能と実態を紹介したいと思います。

なお、本展示は、平塚市が平成13年度を「新世紀ひらつかルNESSANS」と位置づけ開催するさまざまな事業の一環であるとともに、神奈川県博物館協会加盟館が共同開催する「東海道宿駅制度400年記念」展事業に参加し開催するものです。

巡回展の会期：

大磯町郷土資料館：平成13年9月16日(日)～10月28日(日)

平塚市博物館：平成13年11月3日(土)～12月23日(日)

開館時間：

大磯町郷土資料館：9時から17時まで

平塚市博物館：9時から17時まで(ただし、金曜日は19時まで開館)

### —連続講座「東海道」のお知らせ—

この巡回展の関連事業として、大磯町郷土資料館・平塚市博物館において、連続講座「東海道」を開催いたします。期日、会場、時間、講師、テーマ、参加方法は、以下の通りです。

会場：大磯町郷土資料館 講堂

第1回：9月29日(土) 細井 守(大磯町史執筆委員)

講演テーマ：—東海道を通るさまざまな外交使節—

第2回：10月14日(日) 馬場弘臣(東海大学校史編纂室)

講演テーマ：—大磯宿の宿財政—

会場：平塚市博物館 講堂

第3回：11月18日(日) 大和田公一(箱根町立郷土資料館)

講演テーマ：—箱根宿と街道施設—

第4回：12月2日(日) 斉藤 司(横浜市歴史博物館)

講演テーマ：—神奈川宿と戸塚宿—

第5回：12月16日(日) 土井 浩(平塚市博物館)

講演テーマ：—東海道と平塚宿—

時間：いずれも午後1:30～3:30まで

参加方法：往復はがきで9月22日までに

大磯町郷土資料館 〒255-0005 大磯町西小磯446-1

平塚市博物館 〒254-0041 平塚市浅間町12-41

までお申し込みください

定員：100名(多数の場合は抽選)

## さがむのくに 夏期特別展「相武国の古墳」を終えて

7月20日から始まった特別展も8月31日をもって、無事終了し、大勢の来館者を迎え、関係者一同喜んでいきます。そこで、今回の特別展を振り返ってみたいと思います。

今回の趣旨は、3年前に実施した「相模国府の世界」で課題として残された、なぜ四之宮に国府が置かれたか、その背景を遡ってみることにありました。そのために、相模川流域の古墳時代を取り上げ、特に平塚市真土大塚山古墳の出現の経緯は何かを考えてみることにしました。やや、強引な考え方ですが、相模国府も真土大塚山古墳も、その時の為政者にとって、海に面した東国（東海道筋）の支配を推進する上で必要不可欠な場所、つまり陸上・水上交通の要所を押さえることが、為政者に求められたからだと思います。東国支配を貫徹する上で一番重要な場所、それが相模川河口に立地した平塚の砂丘地帯であったと考えます。古墳時代と奈良時代は大きく異なりますが、その地域のもつ立地条件と時代の要請にマッチした地域が平塚であったと考えます。

この特別展に関連して、8月4日、中央公民館の小ホールで「相武国の古墳」のシンポジウムと、東京国立博物館の望月幹夫氏による講演会「ヤマト政権と相武国」を実施しました。当日、予想に反して定員250名を超える参加者がありました。これほど多くの参加者を迎えられたのは、おそらく過去にこのような大胆なシンポジウムは県内で行われていなかったからであり、さらに最近の逗子市・葉山町の長柄・桜山古墳の発見、海老名市秋葉山古墳の円筒形土製品の発見などにより、神奈川県古墳時代を見直すような状況が生まれ、市民の方の要望が高まってきたからだと思います。しかし、シンポジウムは大変重たい内容で、理解しがたい部分があったかと思いますが、現時点での到達点と方向性を示したものと考えています。

また、8月12日に伊勢原市教育委員会の諏訪間伸氏に「伊勢原の古墳を歩く」、19日には海老名市の教育委員会の押方みはる氏に「海老名の古墳を歩く」をお願いしました。参加者は平塚市以外の方が目立ちました。これは、ポスターと市外の研究者の方が宣伝して下さったお陰だと思います。参加者の皆さんは展示を見ての実地見学であっただけに具体的な質問が多く出されました。充実した解説をされました二人に厚くお礼申し上げます。さて、前者の伊勢原は、後期になると相武国の中心勢力地であったことは金銅製の大刀や馬具の出土が物語っており、相武国造の墓域と考えて間違いなさそうです。その基盤となった集落がどこかが今後の課題となります。後者の



白熱するシンポジウム



海老名は前期古墳群として全国的にも有名で、特に3号墳から出土した土器は3世紀後半と考えられ、東国の古墳の出現時期を考える上で、重要なポイントとなるものです。従来、神奈川県前期古墳は規模が小さく、数が少ないといわれてきましたが、逆にこのことが神奈川県の特徴と言えるかもしれません。その背景として、東国の入口である神奈川県は、いち早くから大和政権と深く結び付きがあったのではないのでしょうか。

最後になりましたが、多くの方々のご指導とご協力を賜りましたことを、紙面を借りお礼申し上げます。

海老名市秋葉山古墳群にて



# 博物館カレンダー

<平成13年9月>

1	土	○みんなで調べよう「身近な林調べ」	科学室
5	水	民俗探訪分科会	田村
6	木	展示解説ボランティアの会	特研室
7	金	古文書講読会	講堂
8	土	◎漂着物を拾う会	虹ヶ浜
		地質調査会	野外
		☆プラネタリウム「フリートークプログラム」(~10月7日)	プラネ室
		天体観察会「流星群観察法」	屋上
9	日	○自然観察会「鳴く虫」	相模川
		水辺の楽校生きもの調べの会	相模川
12	水	博物館実習(~20日)	博物館
13	木	石仏を調べる会「編集作業」	特研室
14	金	古文書講読会	講堂
15	土	民俗探訪会「日枝神社祭礼」	中原
16	日	◎ろばたばなし	展示室
		地質調査会	科学室
20	木	展示解説ボランティアの会	特研室
21	金	☆奇贈品コーナー「実習生による展示」(~10月30日)	展示室
		古文書講読会	講堂
22	土	平塚の空襲と戦災を記録する会	特研室
23	日	古代遺跡を探す会「分布調査」	土沢
27	木	石仏を調べる会「編集作業」	特研室
28	金	古文書講読会	講堂
29	土	○特別展記念連続講座「東海道」	大磯
		プラネタリウム番組を作る会	プラネ室
30	日	相模川の生い立ちを探る会「砥石とマンガン鉱」	秦野市

☆: 展示(無料) プラネタリウム(観覧料)

○: 申込制 ◎: 自由参加 無印: 会員制

<平成13年10月>

3	水	民俗探訪分科会	横内
4	木	展示解説ボランティアの会	特研室
5	金	古文書講読会	講堂
6	土	○考古学入門講座「地域の考古学」	講堂
		○体験学習「星座早見盤を作ろう」	科学室
7	日	民俗探訪会「寄木神社祭礼」	大神
		水辺の楽校生きもの調べの会	相模川
11	木	石仏を調べる会	特研室
12	金	古文書講読会	講堂
13	土	◎漂着物を拾う会	虹ヶ浜
		☆プラネタリウム「アンドロメダ銀河」(~12月2日)	プラネ室
14	日	○特別展記念連続講座「東海道」	大磯
		地質調査会	野外
17	水	民俗探訪分科会	大神
		裏打ちの会	科学室
18	木	展示解説ボランティアの会	特研室
19	金	古文書講読会	講堂
20	土	○考古学入門講座「地域の考古学」	講堂
		地質調査会	科学室
		天体観察会「オリオン座流星群」(~21日)	天文台
21	日	◎ろばたばなし	展示室
25	木	石仏を調べる会	特研室
26	金	古文書講読会	講堂
27	土	平塚の空襲と戦災を記録する会	特研室
		○こども観察会「10月の自然」	野外
		◎星を見る会「月を見よう」	屋上
		天体観察会「二重星」	屋上
		プラネタリウム番組を作る会	プラネ室
28	日	古代遺跡を探す会「分布調査」	土沢
		相模川の生い立ちを探る会「二子山と駒ヶ岳」	箱根町

## <展示とプラネタリウム>

### ☆奇贈品コーナー

「湘南新道関連遺跡—平成12年度発掘調査出品展—」

県内で初出土した平安時代の小型金銅仏などを展示します。

期間: 9月15日(土)まで

### ☆プラネタリウム「フリートークプラネタリウム」

今回のプラネタリウムは、当日の解説者による「おまかせ・お楽しみメニュー」です。その日の天文現象や季節の話題など、どんな話題が出てくるか、その時になるまでわかりません。今日はどんな話題が出てくるか、お楽しみに。

期間: 9月8日(土)~10月7日(日)

投影日: 土日曜日の11時と14時

## <参加者募集>

### ○体験学習「星座早見盤を作ろう」

星座探しに便利な星座早見盤を作って、使い方を実習します。

日時: 10月6日(土) 15時~18時30分

場所: 博物館科学教室

定員: 30名

参加: 往復はがきに住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、9月15日までに博物館へ申し込む

### ○考古学入門講座

地域の考古学をテーマに4回連続でお話しします。

日程: 10月6日(土)「小田原の考古学」: 諏訪間順氏

10月20日(土)「茅ヶ崎の考古学」: 大村浩司氏

11月10日(土)「鎌倉の考古学」: 宮田 眞氏

11月24日(土)「横須賀の考古学」: 中三川昇氏

時間: 14時~16時

会場: 講堂 定員: 80名

参加: 往復はがきに住所、氏名、年齢、電話番号を記入し、9月25日までに博物館へ申し込む

### ◎漂着物を拾う会

海岸に流れ着いた物から、来歴を推理したり、自然環境を考えたりします。

日時: 9月8日(土) 9時30分~11時

場所: 平塚虹ヶ浜海岸

申込: 参加自由ですが、初めての方は往復はがきて申し込んでください。集合場所等をご案内します。

### ◎ろばたばなし

民家の囲炉裏端で昔話を聞いてみませんか。

日時: 9月16日(日) (1)13時30分~ (2)15時~

場所: 展示室民家

あなたと博物館 26巻 6号 通算298号 発行 平塚市博物館 2800

〒254-0041 平塚市浅間町12-41 Tel:0463-33-5111 Fax:0463-31-3949

E-Mail: muse@city.hiratsuka.kanagawa.jp ホームページ <http://www.city.hiratsuka.kanagawa.jp/museum/>